



MABOROYAL KJ CUP 2018

[DOG-DIV]

JDSA ジャッジ基準



無断使用禁止

このジャッジ基準は、必要に応じ改定することがある。

《 JDSA MABOROYAL KJ CUP ジャッジ基準 》

※ DOG サーフィンクラス、DOG サーフィントانデムクラス、DOG SUP サーフィンクラスに適用

1 ジャッジ編成

2人以上のジャッジで実施

- (1) それぞれのジャッジの採点を合計し、ジャッジの人数で割る。(平均)
- (2) 小数点第二位まで算出し、小数点第三位を四捨五入する。

2 レギュレーション

- (1) マキシマムウェーブ6本(Maximum6)
- (2) ベスト2ウェーブの点数の合計を算出する。
- (3) ベスト2ウェーブの合計点に、大会で付与されるハンディキャップ及びその他の減点・加算ポイントを加え、総合ポイントが高い順に順位を決定する。
- (4) ヒート時間 7分間を予定
- (5) インターフェアランス(妨害行為)をした場合、そのライディングポイントを1/2減点とする。
- (6) **危険な行為及びサーフィン中に犬を安全にボードに乗せることができない場合は減点とする。**
なお、減点ポイントはジャッジで協議し決定する。
- (7) 大会当日に遵守事項を守らない場合や、主催者の指示に従わない場合は、ノーポイントとする。

＜スコアリングの決定＞

審査項目	ライディング(技量)	ライディング距離・時間 《加算》	ワイブアウトの状況 《加算》	最大点数	+	ハンディキャップ 《減点・加算》	危険行為など 《減点・加算》
ポイント上限	10	1	1	10		状況により付与	状況により付与

＜スコアリングカテゴリー＞

審査項目	ポイント評価基準			
ライディングジャッジ ・主は犬のライディング ・人間は補助的審査 ※犬の技量を総合的に審査する。	0 ~ 1.5	POOR		
	2.0 ~ 3.5	FAIR		
	4.0 ~ 5.5	AVERAGE		
	6.0 ~ 7.5	GOOD		
	8.0 ~ 10.0	EXCELLNT		
《加算対象》 ライディング距離・時間 ワイブアウトの状況 など	0.5~1	ロングライディング他		
	0.5~1	犬が迫力あるワイブアウトをした。(危険回避措置とは異なる)		
《減点対象》 妨害行為・危険行為	-0.5~	犬に対し無理やり又は乱暴に扱う行為、危険行為をした場合		
	-1.0~	妨害行為		

①テイクオフポイント	+	②ライディングスタイルポイント	+	③ライディングポイント	=	加算・減点をさらに加えた ライディングジャッジポイント
------------	---	-----------------	---	-------------	---	--------------------------------

※ ジャッジが、特にエクセレントと判断した場合は、さらにポイントを加算できる。

- ① 総合得点が同じ場合は、**危険行為等の減点がなく**、かつ、1)ジャッジポイントの平均の最高得点が高い方が上位とし、さらに同じ場合は2)上位から2番目の平均ポイントが高い方が上位、さらに同一の場合は、①3番目の平均ポイントが高い方⇒②以下4番目以降から6番目まで同じ、③すべてのジャッジポイント点数の合計が高い方⇒④0点が少ない方⇒⑤波に乗った本数が多い方の順序で決定する。ジャッジポイントで決定しない場合は、くじ引きとする。
- ② 危険な行為や妨害行為(インターフェアランス)の時は、状況を勘案して減点する。
- ③ 採点スケールは、「ベーシックスケール」を使用

POOR	0.5	1	1.5		
FAIR	2	2.5	3	3.5	
AVERAGE	4	4.5	5	5.5	
GOOD	6	6.5	7	7.5	
EXCELLNT	8	8.5	9	9.5	10

3 JDSA ハンディキャップ

各クラスでは、出場する選手、使用するボードの種類(大きさや浮力)及び犬の体重などハンディキャップスケールを用いてジャッジする。

例) 大型犬が多数出場するクラスで、小型犬がSUPボードで出場する場合

小型犬にハンディキャップを適用⇒マイナス点を付与

理由: 浮力、ライディング、安定性でウェーブライディングの有利となるため。

《1》 DOG-DIV ジャッジスコアリングの判定

DOG-DIV 各競技は、サーフ (SUP) ボードの種類、犬のサイズ及び犬種、体重をクラス分けして実施することが困難であり、ジャッジを裁定することが非常に困難となる。
 ジャッジスコアリングの決定については、以下の要素を勘案し決定する。

1 DOG OR 人間

ジャッジスコア決定の要素は、**ドッグライダーが主体**である。

人間のライディング技量は、スコアリング決定の要素の主たる部分に含めないもの (ドッグライダーのサーフライディングのサポート的な要素) とする。

2 JDSA ハンディキャップ

DOG-DIV 各クラス (**DOG サーフィンクラス・DOG サーフィンタンデムクラス・DOG SUP サーフィンクラス・DOG SUP レースクラス**)、すべての競技において次のハンディキャップがあることを勘案し、ヘッドジャッジは、スコアリングの裁定を行う。

(1) ボードサイズ

DOG サーフィンクラス・DOG サーフィンタンデムクラス・DOG SUP サーフィンクラスに適用
 あらゆるボードサイズとボードタイプを混合して各クラスを実施するため、多くのハンディキャップ要素が存在することになるため、ヘッドジャッジは状況に応じたハンディキャップポイント (減点又は加点) をそれぞれのドッグライダーに付与しジャッジの裁定をする。

・波の状態により生じるハンディキャップ

	ショート	ロング	SUP
波(スモール)	Disadvantage		Advantage
波(ビッグ・ハード)	Advantage		Disadvantage

上記のとおり、例えば波がスモールコンディションの場合は、浮力のあるボードが有利になることは顕著であり、参加する出場者のボード種類、サイズを事前に申告させ、不利な場合は加点ポイントを付与し、有利な場合は減点ポイントを付与する。

(2) ドッグライダーのサイズ (大きさ及び体重)

DOG サーフィンタンデムクラス・DOG SUP サーフィンクラスに適用

あらゆる犬種が存在し、ドッグライダーの体重やサイズがライディングスタイルを左右することとなる。(犬種や体重などによるハンディキャップが生じることとなる。)

ヘッドジャッジは参加するドッグライダーを客観的に判断し、状況に応じたハンディキャップポイントをそれぞれのドッグライダーに付与する。

・犬の体重差によるハンディキャップ付与 (例)

アドバンテージ & ディスアドバンテージ	例1	小型犬がロングボードやSUPボード (8.0以上) でエントリーしているクラスで、大型犬がファンボード以下のボードでエントリーの場合 ⇒ 大型犬ライダーに加算ポイントを付与 小型犬SUPライダーに減点ポイントを付与 小型犬ロングボードはアドバンテージなし	
	例2	小型犬と大型犬がSUPボード (同一サイズ) でエントリーした場合 ⇒ 小型犬ライダーに減点ポイントを付与 大型犬ライダーはアドバンテージなし	
アドバンテージなし	小型犬 ショート	この組み合わせでは、それぞれがアドバンテージなしでジャッジする	大型犬 ロングボード

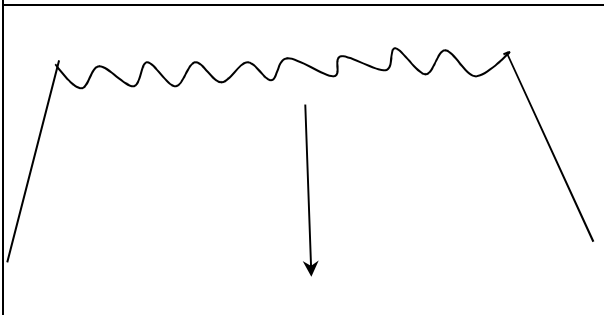
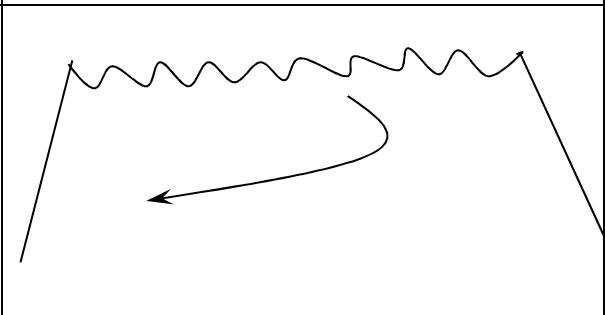
《2》 JDSA ライディングジャッジポイントの判定

第1 DOG サーフィングクラス・DOG サーフィントンデムクラス・DOG SUP サーフィングクラス
 ライディングジャッジポイントは、次により決定する。

(1) テイクオフポイント

スピード、方向、テクニック、状態をジャッジする。

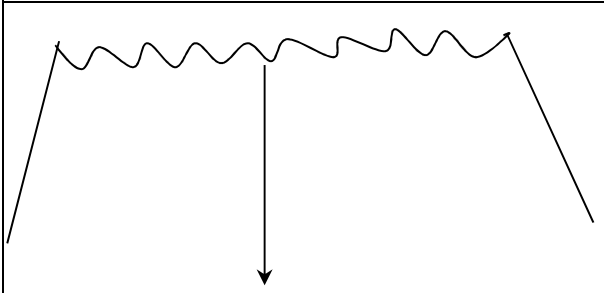
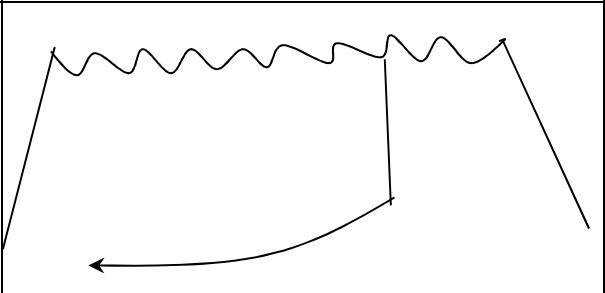
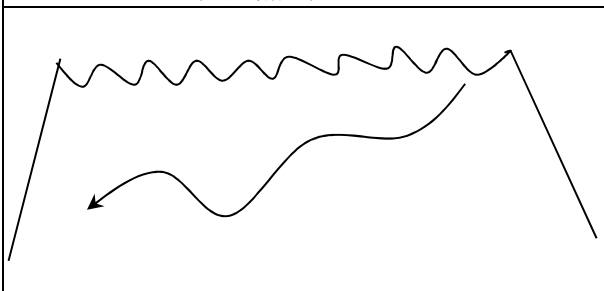
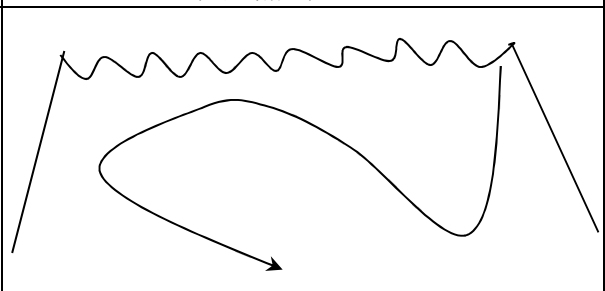
【ポイント例】

ストレート ポイント (0.1 点～)	波の斜面から横に滑る ポイント (0.5 点～)
	

(2) JDSA ライディングポイント (ウェーブライディングポイント)

ウェーブライディング中のライディングテクニック (ターン及び技)、スピード、華麗さをジャッジする。

【ポイント例】

①ストレート ポイント (0.1 点～)	②波をストレートに滑りボトムターン ポイント (ターン小 0.5 点～)
	
③ショルダーを乗りながら小さなターン ポイント (1.5 点～)	④ボトムターン、トップターンなどを併用 ポイント (3.5 点～)
	

(3) ライディングスタイルポイント

I DOG サーフィングクラス ライディングポイントスケール及び II DOG サーフィントンデムクラス・DOG SUP サーフィングクラス飼い主ポイントスケールを適用し、ジャッジする。

I DOG サーフィングクラス、DOG サーフィンタンデムクラス、DOG SUPサーフィングクラス、ライディングスタイルポイントスケール

ポイント分類	ポジションイメージ	ライディング状況	ポイントスケール
POOR	① 後ろ向きポジション 	後ろ向き 伏せ・お座りポジション	0.1～
		後ろ向き スタンドポジション	0.2～
FAIR	② 伏せ又はお座りポジション 	・afraid (怖がっている)	0.3～
		・average (平均)	0.4～
		・positive (積極的)	0.5～
		・fun (楽しんでいる)	0.6～
AVERAGE	③ スタンドポジション 	・afraid (怖がっている)	0.7～
		・average (平均)	0.8～
		・positive (積極的)	1.0～
		・fun (楽しんでいる)	1.5～
GOOD	サーフライディングポジション 	・NSA ロングボード/メジャーマニューバー及びマイナーマニューバーを適用 ・ウォーキング ・ハングファイブ ・ハングファイブオーバー ・ハングテン ・ハングテンオーバー ・チーターファイブ など	2.0～
EXCELLNT	パーフェクトライディング 	ジャッジの判断による。	

- 1 大会状況により、1/2 から 1/5 の割合でジャッジポイントに加算する場合もある。
- 2 飼い主が犬に対し、命令や指示を発しスタイルポジションを行わせている場合においては、「POOR 又は FAIR」とする場合がある。
- 3 ライディング中に、ライディングスタイルポジションが変化した場合を含めて決定する。
- 4 多数の犬のいる場合は、それぞれを点数化し平均する。

II DOG サーフィントンデムクラス・DOG SUP サーフィングクラス飼い主ライディングスタイルポイントスケール

DOG ライディングスタイルポイントスケールを基準に、飼い主のライディングスタイルポイントを決める。

1 飼い主のライディングスタイルポジション

飼い主のポジション	イメージ	ジャッジスケール
飼い主がボードに腹這い、 または ボードに座っている場合		-1.0~
膝をボードにつけている (スタンディングができない場合)		-0.5~
スタンディング		標準

2 ライディングスタイルポイントスケール ライディングスタイルポイントスケールに準拠

3 ジャッジポイントの決定

ジャッジポイントの決定は、以下により決定する。

- (1) 犬のライディングポイントを主にジャッジする。
- (2) 飼い主のライディングポイントは、犬のライディングに対するサポート的な要素とする。

例)

- 1 飼い主が、EXCELLNT ポイントであっても、犬が POOR ポイントであれば、POOR を主にジャッジする。
- 2 犬が、EXCELLNT ポイントであれば、飼い主のライディングポジションを勘案しジャッジする。

例1) のイメージ

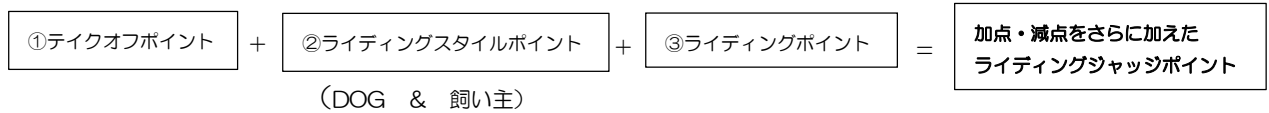


例2) のイメージ



《3》 JDSA ライディングジャッジポイントの決定

ライダーのライディング毎に判定される、
①テイクオフポイント+②ライディングスタイルポイント+③ライディングポイント を合計し、
採点スケール「ベーシックスケール」に適合させ、さらに加点や減点を加算しそれぞれのジャッジが、
ライディングジャッジポイントを決定する。



《4》 危険行為及び大会遵守事項を守らない場合

- (1) 危険行為とは、次の事項に該当する場合をいい、ジャッジポイント及び総合ポイントの減点を行う。
- ① リードで犬を吊るす行為（抱き上げるときは犬の体を手で直接保持する。DFDの背中へのベルトは可）
 - ② ボードコントロールができないために、犬がボード上から飛ばされる。犬にボードがあたる。犬がボードの下敷になった場合
 - ③ サーフポイントで犬が、波にまかれる。波にさらわれた場合（危険回避措置なし。）
 - ④ 飼い主が無理をするなど、顕著に犬が嫌がっている場合、又は危険な状態になったと判断した場合
- (2) 大会遵守事項や大会主催者の指示を守らない場合
主催者の指示に従わない場合や、他の参加者に危害が及ぶ恐れがあると判断した場合は、退場させる。
あるいは、ジャッジで減点し、表彰から除外する。

第2 JDSA DOG SUP レースクラス

- 1 ジャッジ編成
2人以上のジャッジで実施
(1) ヘッドジャッジは、スタートからゴールまでをジャッジする。
(2) Aジャッジは、ブイ位置で回転及び競技をジャッジする。
- 2 レギュレーション
(1) スタート合図からゴールまでのタイムで順位を決定
(2) 犬がボードから降りて進行したときは、1mにつき60秒を加算（戻った場合は加算しない。）
(3) ボード種類及び犬の体重の合計でハンディキャップを付与する場合あり。
(4) ハンディキャップは、5秒を1単位として付与する。（ハンディキャップタイム加算又はマイナス）
(5) 危険な行為、妨害及びレース中に安全に犬をボードに乗せることができない場合は減点（タイム加算）又は中止とする。
なお、減点はジャッジで協議し決定する。

ジャッジ集計例 (DOG サーフィンクラス・DOG サーフィンタンデムクラス・DOG SUPサーフィンクラス)

MABOROYAL KJ CUP 2018

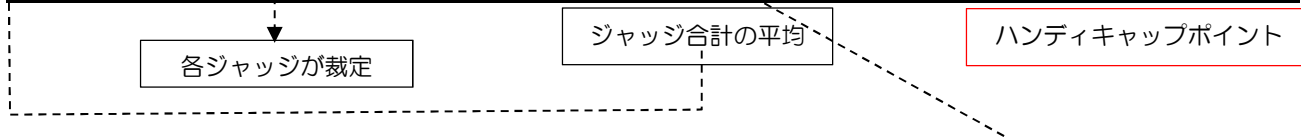
[DOG-DIV] ジャッジ集計シ



Class	Round	Heat	集計者	集計チェック者
DOG SUPサーフィン	1		A	A

ゼッケン	赤 RED	青 BLUE	黄 YELLOW	白 WHITE
氏名	DOG 1	DOG 2	DOG 3	DOG 4
最上位ポイント	5.00	5.67	3.67	3.67
2番目ポイント	4.83	5.17	2.17	3.33
ハンディキャップ	0.50	0.00	-1.00	0.00
加減点	0.00	0.00	0.00	0.00
ポイント合計	10.33	10.83	4.83	7.00
順位	2	1	4	3

ウェーブ	赤 RED				青 BLUE				黄 YELLOW				白 WHITE			
	ジャッジ A	ジャッジ B	ジャッジ C	平均	ジャッジ A	ジャッジ B	ジャッジ C	平均	ジャッジ A	ジャッジ B	ジャッジ C	平均	ジャッジ A	ジャッジ B	ジャッジ C	平均
1	2.5	2.0	2.0	2.17	3.5	5.0	5.0	4.50	1.0	1.0	1.0	1.00	2.0	5.0	3.0	3.33
2	1.0	2.0	1.0	1.33	5.0	4.5	4.0	4.50	2.0	2.5	2.0	2.17	2.0	4.0	3.0	3.00
3	4.5	5.0	5.0	4.83	5.0	6.0	6.0	5.67	0.0	0.5	0.5	0.33	3.0	5.0	3.0	3.67
4	5.0	5.0	5.0	5.00	4.0	5.0	5.0	4.67	1.0	3.0	2.0	2.00	0.0	1.0	0.0	0.33
5	3.0	3.5	3.0	3.17	5.0	5.0	5.0	5.00	2.0	1.0	1.0	1.33	0.0	0.0	0.0	0.00
6	0.0	0.0	0.0	0.00	5.0	4.5	6.0	5.17	2.0	5.0	4.0	3.67	0.0	0.0	0.0	0.00
その他																



最上位ポイント	+	2番目ポイント	+	ハンディキャップポイント	+	加減点	=	ポイント合計
---------	---	---------	---	--------------	---	-----	---	--------

JDSA MABOROYAL KJ CUP 2018

[DOG-DIV] ジャッジシート

Class	Round	Heat	ジャッジ氏名

Ride No		1	2	3	4	5	6	その他	危険行為	ハンディキャップ
赤 RED	ライディング									
	加点									
	減点									
	合計									

白 WHITE	ライディング								危険行為	ハンディキャップ
	加点									
	減点									
	合計									

青 BLUE	ライディング								危険行為	ハンディキャップ
	加点									
	減点									
	合計									

黄 YELLOW	ライディング								危険行為	ハンディキャップ
	加点									
	減点									
	合計									

POOR	0.5	1	1.5		
FAIR	2	2.5	3	3.5	
AVERAGE	4	4.5	5	5.5	
GOOD	6	6.5	7	7.5	
EXCELLNT	8	8.5	9	9.5	10

JDSA MABOROYAL KJ CUP 2018

[DOG-DIV] ジャッジ集計シート

Class	Round	Heat	集計者	集計チェック者

ゼッケン	赤 RED	白 WHITE	青 BLUE	黄 YELLOW
氏名				
ベスト2 ①				
ウェーブ ②				
ハンディキャップ				
その他の減点・加点				
ポイント合計				
順位				

ウェーブ	ジャッジ A	ジャッジ B	ジャッジ C	平均	ジャッジ A	ジャッジ B	ジャッジ C	平均	ジャッジ A	ジャッジ B	ジャッジ C	平均	ジャッジ A	ジャッジ B	ジャッジ C	平均
1																
2																
3																
4																
5																
6																
その他																